



2025 年 9 月 19 日

各 位

会 社 名 ヤスハラケミカル株式会社
代表者名 代表取締役社長 安原 禎二
(コード番号 4957 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営統括本部長 原田 桂子
(TEL. 0847-45-3530)

2026 年 3 月期業績予想に関するお知らせ

2025 年 4 月 30 日公表の 2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)において未定としておりました 2026 年 3 月期(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)中間期ならびに通期業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想

2026 年 3 月期中間期個別業績予想 (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
2026 年 3 月期中間期(予想)	7,530	747	778	531	58 円 53 銭
2025 年 3 月期中間期(実績)	7,227	909	763	550	60 円 02 銭
増減額	303	△162	15	△19	
増減率(%)	4.2	△17.8	2.0	△3.6	

2. 通期業績予想

2026 年 3 月期通期個別業績予想 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
2026 年 3 月期(予想)	15,403	1,418	1,484	1,021	112 円 59 銭
2025 年 3 月期(実績)	14,661	1,820	1,882	1,376	150 円 79 銭
増減額	741	△402	△397	△354	
増減率(%)	5.1	△22.1	△21.1	△25.8	

3. 業績予想の概要

2026 年 3 月期の業績予想につきましては、米国における関税の影響など、当社を取り巻く事業環境におきまして不透明な状況であり、合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報を元に算定し公表いたします。

売上高につきましては、電子材料用途が引き続き堅調に推移する見込みであることに加え、関税問題が懸念材料となっておりました自動車分野におきまして、影響が軽微である見通しが立ったことから増収を見込んでおります。しかし、営業利益、経常利益、当期（中間）純利益につきましては、原材料価格の上昇、減価償却費負担の増加などにより減益を見込んでおります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上